

第70回三多摩地区道場対抗試合及び第28回道場対抗少年の部 大会要項

1. 日 時 令和6年6月2日(日) 受付 9:00 開会式 9:30
2. 会 場 府中市郷土の森総合体育館 第一武道場
3. チーム編成 単一道場・体育館・クラブ・学校・警察道場を単位として編成する。
試合のための混成チームは認めない。
指導者・監督は、選手の安全に留意し編成すること。

(1) 少年の部

- ① 小学生 …… < 先鋒(4年生)、次鋒・中堅(5年生)、副将・大将(6年生) >
同学年内は軽い方から、「体重順」に配列すること。下学年の児童が、一学年上の児童の位置に出場することを認めるが3年生以下の出場は認めない。
- ② 中学生男子… < 先鋒(55kg以下)、中堅(66kg以下)、大将(無差別) >
男子3名で体重別順の編成とすること。中堅の補充として55kg以下も認めるが、体重順に配列すること。
- ③ 中学生女子… < 先鋒(48kg以下)、中堅(57kg以下)、大将(無差別) >
女子3名で体重別順の編成とすること。
中堅の補充として48kg以下も認めるが、体重順に配列すること。

(2) 一般の部 …… < 3人制 >

先鋒 — 初段のみ。中堅・大将 — 初段以上。男子3名の編成とし、無段者・女子の補充は出来ない。中堅・大将は、大将から体重の重い順に配列すること。

4. 出場資格

◆ 少年の部 小学生

- ① 三多摩柔道会に加盟している団体であること。
- ② 監督・選手共に令和6年度全日本柔道連盟登録をしていること。
- ③ 監督は公認柔道指導者資格(A/B/C)を有し、当日必ず引率すること。
- ④ 参加は1団体1チームとする。
- ⑤ 選手計量は、先鋒・中堅のみ行う。

計量の際は、◇ 男子は柔道衣の上を脱ぎ、柔道衣の下穿きを着用する。

◇ 女子は柔道衣の上を脱ぎ、Tシャツと柔道衣の下穿きを着用する。

◆ 少年の部 中学生

- ① 三多摩柔道会に加盟している団体である事または、三多摩地区の中学校柔道部であること。
- ② 監督・選手共に令和6年度全日本柔道連盟登録をしていること。
- ③ 監督は公認柔道指導者資格(A/B/C)を有する者、または中学校柔道部顧問であること。
かつ、当日必ず引率すること。
- ④ 参加は1団体1チームとする。

◆ 一般の部

- ① 三多摩柔道会に加盟している団体であること。
- ② 監督・選手共に令和6年度全日本柔道連盟登録をしていること。
- ③ 前年度の優勝チーム編成者は出場できない。ただし任意の1名まで出場可とする。
- ④ 監督は公認柔道指導者資格(A/B/C)を有し、当日必ず引率すること。

⑤ 参加は1団体1チームとする。

5. 審判規定

最新の国際柔道連盟試合審判規定及び「申し合わせ事項」で行う。

中学生以下においては、国内における「少年大会特別規定」を追加適用する。

◆「優勢勝ち」の判定基準

勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。

※ 「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に、少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

6. 組合せ

大会事務局において主催者が行う。

7. 試合方法

イ トーナメント戦で行う。（参加チームが少ない場合は、変更あり。）

ロ 各チームの点取り対抗戦とし、試合毎のオーダー変更は認めない。

ハ 試合中のケガにより選手欠場が生じた場合のチーム編成は、詰めることなく試合を行う。（欠場選手・直接的反則負け（例外有り）の選手は、一連の試合には出場できない。）

ニ 勝敗決定の方法は、次のとおりとする。

① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

② 勝ち数が同じ場合は、内容（「一本」「技あり」「僅差」の勝ち数）による。

③ 内容も同じときは代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。

代表戦に出場する選手は「引き分け」の中から抽選で1組を選び通常の試合時間で試合を行う。（ゴールデンスコアは行わない）

代表戦で、得点差がなくかつ「指導」差が1以内の場合は、旗判定で勝敗を決する。

8. 試合時間

少年の部 小学生 2分間 中学生・一般の部 3分間

9. 表彰

優勝・準優勝・第3位の、計3チームを表彰する。（参加チーム数により変更あり）

10. 選手変更

申込書（エクセル）に選手変更の欄があります。

事前に変更が発生した場合は、メールにて受け付けます。

当日の場合は、各団体で選手変更用紙を印刷して提出してください。

当日の変更受付は、開会式開始10分前で終了とします。

変更の人数制限は設けませんが、チーム編成・出場資格にご注意ください。

11. 参加費

1チーム 少年の部 小学生 …… 5,000円

中学生 …… 3,000円

一般の部 …………… 6,000円

※ 振込後の返金には応じかねます。ご了承ください。

12. 申込方法

三多摩柔道会公式ホームページから申込書をダウンロードし、必須項目を入力の上下記のメールアドレスまで、申込書（エクセル）を添付してご送信ください。

ホームページ <http://judokai.web.fc2.com>

申込書送信先 santamajudokai.jigyoubu@jcom.zaq.ne.jp

三多摩柔道会 事業部長 笹 崇雄

13. 申込締切日

令和6年5月7日（火） 必着（メール・振込共通）

14. 振込先

参加費は必ず団体名で下記の口座にお振込み願います。

多摩信用金庫 羽村支店

15. 問い合わせ 事業部長 笹 崇雄 上記メールアドレスまで

16. 保 険
- ① 主催者が、選手全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担しますが事前に選手変更が発生した場合は、加入手続きの関係により速やかにお知らせください。なお、万一の事故発生に備え、選手各人が別途傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策をたててください。
 - ② 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとします。
 - ③ 大会当日、参加者は医療機関受診に備え「健康保険証」を必ず持参してください。

17. そ の 他
- ① 全日本柔道連盟(未)登録者は、所属団体を通じて事前に登録をお願いします。申し込み時に新規のメンバーID取得が間に合わない場合でも、メンバーID欄に「手続き中」と入力して申し込みが出来ますが、大会当日にメンバーIDが確認できない場合は、出場できません。
メンバーIDは全てチェックします。間違いの無いように入力してください。
 - ② 参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けてください。
（出場チーム名のゼッケンを取り付けていない選手は、「失格」）
 - ③ 女子選手のTシャツは、色は白、半そで、丸首とします。
 - ④ 女子選手の大会使用の帯については当面の間、白線の有無の混在を認め、普及の状況を見て、白線なしに統一していきます。
 - ⑤ 選手の髪は、柔道衣の襟にかからないように、ゴム等で纏めてください。
 - ⑥ 脳震盪について
 - a. 大会前1カ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の治療を受け、出場の許可を得てください。
 - b. 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは、不可とします。
(なお、至急、専門医「脳神経外科」の精査を受けてください。)
 - c. 練習の再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得てください。
 - d. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出してください。
 - ⑦ 申込書の記載事項(氏名・体重・身長等)は大会プログラムに記載されます。また、大会における写真などがホームページなどに掲載されることを、了承されたものとして扱わせていただきます。
 - ⑧ 監督・コーチは、審判員に準じた服装を基本とし、女性はそれに準じた服装とする。
 - ⑨ 社会情勢により開催の変更も考えられますので、当会ホームページを必ずご確認ください。